

7月 校長あいさつ





ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを創る 児童の育成
5 学年
【6月】 総合 田植え④
田んぼアートに挑戦⑮



協力はかけ算だ！ 5年1組×先生×保護者×応援団＝田んぼアート大成功！

2022年6月17日(金)

東京新聞(埼玉版)で、
6月15日(水)に行った5年生の
「田んぼアート」の田植えの様子が
紹介されました。

ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを創る 児童の育成
5学年 田植え④
【6月】 総合 田んぼアートに挑戦⑮



協力はかけ算だ！ 5年1組×先生×保護者×応援団=田んぼアート大成功！

泥んこになりながら田植えを
する子どもたち=深谷市で



「重忠公ふっかちゃん」柄

丸橋ことみさん(10)は「どんな
ふうになるか楽しみ」と話した。
(渡部穰)

深谷・川本南小 5年生が田植え体験

田んぼにお絵描き
ワクワク

深谷市立川本南小学校の5年生22人が15日、同校近くの休耕田で田植えを体験した。毎年恒例の「田んぼアート」作りで、秋には稲刈りや収穫した米を味わうイベントも計画している。

今年の田んぼアートのテーマは、地元出身の鎌倉時代の武将・畠山重忠をイメージした「一所懸命！ 重忠公ふっかちゃん！」。緑や紫、白など7色の苗をデザインの型紙に合わせて植え込み、市のキャラクター「ふっかちゃん」がかぶとをかぶった顔が浮かび上がる予定。

参加した清水皐月さん(11)は「最初は泥がヌルヌルして気持ち悪かったけど、楽しかった」。

ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを創る 児童の育成
5学年 田植え②
【6月】 総合 田んぼアートに挑戦⑬



ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを創る 児童の育成
5学年 田植え③
【6月】 総合 田んぼアートに挑戦⑭



深谷市イメージキャラクター
ふっかちゃん

郷土の英雄
畠山重忠
埼玉・深谷市

読売新聞で、
6月22日(水)に市内全小学校で
出された「重忠公給食」の様子が紹
介されました。

ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを創る児童の育成
全学年 重忠公給食の実施(深谷市内全小・中学校)
【6月】 重忠の命日に重忠公を偲んで



深谷市イメージキャラクター
ふっかちゃん

郷土の英雄
島山重忠
埼玉・深谷市

重忠しのぶ特別給食

深谷メニューに地元食材使用

深谷市内の小中学校で22日、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する武将・島山重忠にちなんだ「重忠給食」が出された。武蔵武士の鑑と称される重忠は現在の同市島山で生まれ、6月22日が命日とされる。児童生徒は地元の農産物を使った特別メニューを通じて郷土の偉人をしのんだ。

「重忠給食」は、にんにくやみその原料となる大豆、米は地元の農家が栽培したもの。同小5年の今井海友君(11)は「重忠の生涯を描いた本など

この日の献立は、「重忠

にんにく」を使ったキャベツのペペロンチーノ風、「重忠みそ」を使った重忠汁、サバのしょうが焼き、ご飯、牛乳。川本南小の児童が「重忠公にちなんだ給食が食べたい」と、栄養士と相談して決めた。



地元農産物を使った「重忠給食」を食べる児童たち(深谷市立川本南小で)

を讀むと、心の広い立派な武将であったことが分かる。自分も人の手本になれるようがんばりたい」と話した。

市は重忠をモチーフにした公式キャラクターのデザインや関連グッズの販売、企画展などで「重忠の里」のPRに力を入れている。

2020.8.18

2学期始業式 校長あいさつ



正義の味方と言うけれど、**本当の正義の味方**とは何だろう？



やさしさ



憂

すぐれている



『学校教育目標』

「思いやりのある子」

人に優しくできる人 → 優れた人

小さな親切を惜しまない人

『アンパンマンのマーチ』

そうだうれしいんだ

生きる よろこび

たとえ 胸の傷がいたんでも

何のために 生まれて

何をして 生きるのか

答えられないなんて

そんなのは いやだ！

今を生きること

熱い心燃える

だからきみは行くんだ

ほほ笑んで



作詞・やなせたかし／作曲・三木たかし

『アンパンマンのマーチ』

何がきみのしあわせ

何をしてよろこぶ

わからないまま終わる

そんなのはいやだ！

忘れないで 夢を

こぼさないで なみだ

だからきみは飛ぶんだ

どこまでも！

そうだおそれないで

みんなのために

愛と勇気だけが友達さ



作詞・やなせたかし／作曲・三木たかし

『手のひらを 太陽に』



ぼくらは みんな生きている
生きているから 歌うんだ
ぼくらは みんな生きている
生きているから **悲しんだ**

手のひらを太陽に 透かして見れば
まっかに流れる ぼくの血潮
ミミズだつて オケラだつて
アメンボだつて
みんな みんな 生きているだ
友だちなんだ



作詞・やなせたかし／作曲・いずみたく

生きていなきゃ、「悲しい」という気持ちになることもない。そして、悲しみがあるから喜びがある。

悲喜交々（ひきこもごも）とは、**悲しみ**があって、**喜び**がある

生きているから、辛いとか、痛いとか、いろいろなことがある。それは、**生きている証**。喜びよりも悲しみの方が強い。だから、悲しみが先なんです。



『手のひらを 太陽に』

手のひらを太陽に

透かして見れば

まっかに流れる

ぼくの血潮

ミミズだつて

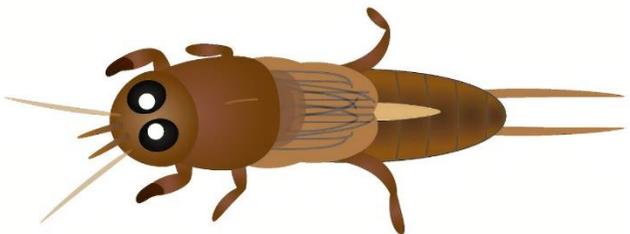
オケラだつて

アメンボだつて

みんな みんな

生きているだ

友だちなんだ



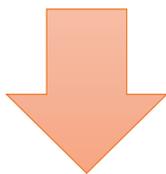
作詞・やなせたかし／作曲・いずみたく





自分の明日を信じて

今日（きょう）



未来（みらい）